



穴をあけて綴じてください



六郷神社兼務社の北野神社(仲六郷四丁目)

初詣では氏神さまから

崇敬会会員と家族の昇殿参拝

平成28年1月3日午前10時30分 (第1回)

午前11時30分 (第2回)

1月3日の午前10時30分からと11時30分からの2回、崇敬会会員とその家族にかぎり、昇殿参拝の式をおこなひ、神社から神酒と特別な祈祷「二陽来復御守」の神札が授与されます。なお、1月の「誕生祭」の方は第1回目にご参拝ください。

崇敬会では新春記帳所を設けますので、ご記帳のうえ、御供物をお受け取りください。なお、境内には、甘酒進上の席も用意いたします。

ご家族そろって多数ご参拝ください。

神輿渡御

平成二十七年六月七日（日）の祭礼には神社の式之神輿が国道西側の氏子の町会を巡りました。門前では崇敬会による六郷囃子が奉納されました。好天に恵まれ、沿道には多くの人々が集まり、大変な賑わいとなりました。また、子どもたちによる神獅子舞（大田区指定無形民俗文化財）は国道の東側の町会を道行きし、各神酒所で演舞しました。



神社の壺之神輿（左）と式之神輿



仲六郷町会連合渡御神輿の宮入り



町会神酒所で演舞する神獅子舞



崇敬会奉納の六郷囃子

崇敬会大祭執り行われる

平成二十七年十一月三日（火・文化の日）、会員をはじめ多くの方々に参加していただき、晴天のもと、二十七年目を迎える崇敬会の大祭が催されました。昇殿参拝を行った後、厳かに献木式が行われ、崇敬会奉納になる「常磐山法師（ときわやまぼうし）」と「灰の木（はいのき）」の二本の常緑樹が植えられました。境内では、裏千家東京第四支部の皆様のご奉仕により添釜も行われました。



神前における献茶式



境内で行われた添釜



植樹された「常磐山法師」と「灰の木」

◆新入会員紹介

南六二・西尾善邦
 西六二・高塚時彦
 川崎市・木戸梓
 新宿区・森田晃正

おおよまこつ おみきわく
大山講の御神酒杵一対

この御神酒杵は、昭和五十三年（一九七八）九月、六郷神社境内の旧神楽殿の床下から発見されたものです。

天保二年（一八三一）七月に六郷講中が新調した御神酒杵一対で、日吉造りの屋根で、勾欄をめぐらし、二本の柱に



御神酒杵のひとつ



(横浜市歴史博物館蔵・写真提供)

は昇龍降龍の彫刻をほどこすなど極めて精巧に作られており、それぞれの木箱（60×左右44×奥行72センチメートル）に納められていました。

往昔、相州大山の阿夫利神社（神奈川県伊勢原市）に参拝するときには、この御神酒杵の中に徳利二本を納め、講員が天秤棒の両端に付けて担いで行きました。初代広重画「東海道五十三次細見図」程ヶ谷（写真下）には

御神酒杵を担いだ大山詣の人たちが描かれています。

参詣の帰りには下社のそばの二重之滝の水を徳利に入れて持ち帰り、それぞれの村の田にまいて豊作を祈りました。六郷講中では、帰りに多摩川を渡るとき、その水を注いで豊作を祈ったといわれています。なお、大田区立郷土博物館では、この御神酒杵の一つを復元し、民俗資料として常設展示しています。

◆お知らせ

恒例となっております神社参拝バス旅行は、来春二、三月に実施の予定です。詳しいことは別途お知らせいたします。

◆平成二七年度会費納入のお願い

年会費（平成二十七年四月一日より二十八年三月三十一日までの分）未納の方は、お手数でも同封の振替用紙でお納めください。社務所でも受け付けております。なお、すでにお納めの方は失礼をご容赦ください。

発行 六郷神社崇敬会

〒一四四一〇〇四六

大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話〇三―三七三一―二八八九

振替〇〇一九〇―六一―一三五五三

編集 平野卓治